

ひがししらかわ



○尾城山の頂上を目指す児童（関連4ページ）

村長室から

○二十五年度予算の執行を開始

先月、一覧表を配布した村民生活に密着した関連予算は、農地流動化事業や新規就農者定住促進事業など農業関係の補助金、太陽光発電、生ゴミ処理機設置事業などの環境関係の補助金、高校生通学助成、十八歳までの医療費無料化などの子育て支援、その他福祉関係など三十三項目あります。

それぞれ必要な補助金を遠慮なく担当係へご相談下さい。

○盛況のつちのこフェスタ

三日に毎年恒例つちのこフェスタを行ないました。（詳細は四ページ）

つちのこ捜索隊の新企画「金のつちのこプレート」をはじめ盛りだくさんの内容で多くのお客さまに楽しんでいただきました。協力諸団体および来場者の皆さんに厚くお礼申し上げます。

○団員への応援をお願いします

二十六日には消防団恒例の操法大会が行なわれます。団員の皆さんは仕事のかたわら訓練を重ね有事の際に備えています。この大会は有事の際に迅速に連携をとれるように訓練するのが目的です。

当日は共に敬意と感謝をこめて応援をお願いします。



the most beautiful
villages
in japan

5
2013

高校生通学支援拡大・空家バンクなどを提案 一部は新年度予算に反映

昨年十月、安江村長は三つの課題を解決するため、職員からメンバーを募りそれぞれのプロジェクトチームを設置しました。

今月号ではこれらのプロジェクトチームの活動を紹介します。

プロジェクトチーム

村では特別なイベントやその時々々の課題を研究し解決策を立案する際、職員によるプロジェクトチームを設置する手法を取っています。職員は通常業務とは別に村長から与えられた課題に対して課や係といった組織の枠にとらわれず、自由な発想で研究や議論を行い成果を村長に報告します。

チームの設置

昨年度は「高校生支援チーム」「自然エネルギーと美しい村チーム」「定住促進チーム」の三チームを設置し、職員に参加希望を募りました。これに応じた十九人の職員は各チーム六

人、七人で二ヶ月間の研究を開始しました。

研究と調査を実施

チームは各課題に対して検討や研究を重ねると共に、対象の村民の方との意見交換やワークショップ、現地調査を行いました。また課題の根本解決のために理想の村を仮定して必要な施策を新たに研究していくチームもありました。

成果を村長へ報告

各チームは最終的な成果をまとめ、十二月〜一月初旬に村長へ報告書を提出しました。

成果の一部は今年度予算に反映されたほか、担当部署が業務を進めて今後の実現を目指していきます。

チーム① 高校生支援拡大

○支援拡大

このチームは村の活性化のため、**高校生の**自宅通学を促すにはどのような施策が**必要か**を探りました。

：高校生の現状

村の高校生の通学状況について調査したところ、二十四年度現在では可茂地区と下呂地区の高校へ通う生徒のうち自宅通学は五人に一人で、入寮したり下宿やアパートからの自宅外通学が大半を占めています。自宅からの通学が少ない原因としては、公共交通手段の乏しさ、定期券などの交通費にお金がかかることなどが考えられます。

：保護者からの意見

昨年の十一月には鮎ヶ瀬会館で保護者懇談会を行い、高校生や進学する中学

生の保護者の皆さんからアンケートと併せて支援策への意見を伺いました。意見では役場公用車による無料送迎を行なうよりも、個々の事情に配慮した補助金の増額を望む声が多くありました。

また、下宿・アパート・寮などの自宅外通学に対する支援を望む意見が多く寄せられました。

：報告で増額・拡大を提案

これらの調査結果から、通学支援活性化補助金を増額・対象拡大する提案をまとめ村長への成果報告としました。

なおこの補助金は本年度予算に盛り込まれ下記表のとおり実施されています。

※当補助金の問合わせ

教育委員会（内420）

	対象	補助額
(旧)	自宅通学の生徒 (交通手段問わず)	月額5千円



(新)	自主運行バスを利用	1ヶ月の定期代全額
	自家用車などを利用	月額1万円
	下宿・寮・アパートから通学	月額5千円



自宅通学支援の拡大

チーム② 自然エネルギーと美しい村

このチームは再生可能エネルギーと美しい村にかかわる取り組みについて研究しました。

○再生可能エネルギー

この分野については、村が進める事業について今後の方針を確認しました。

○小水力発電整備事業

防災強化事業として、県一〇〇%補助で道の駅「茶の里東白川」周辺で小水力発電設備を設置しました。

災害発生時に避難所の夜間照明や携帯電話の充電などに利用されます。

○太陽光発電整備事業

庁舎と中学校の屋根を利用した太陽光発電の導入を計画中です。



設置された小水力発電機

○美しい村

遊歩道事業を報告

会議を重ねる中で、村長

への答申では村内での遊歩

道開設を提案することに決

め、チームがメインに取り

組む事業としました。以降

は事業費の見積りや、現地

調査を実施し事業案をまと

めていきました。

なおこの遊歩道は本年度

予算で整備を実施する予定

で、現在具体的なルートを

検討中です。

○美しいスポット

村民から各集落の人しか

知らないような美しい風

景、場所を募集し、「美し

いスポット」として看板設置、

パンフレット作成などPR

に活用するものです。

村長への答申には含まれ

ませんでした。四月の自

治会長配布でチラシを配布

し募集を開始しました。

美しい東白川村のPRに

皆さん御協力をお願いしま

す。

※美しいスポットの問合わせ

企画財政係（内240）

チーム③ 定住促進

このチームは定住促進の課題について研究を進めました。

○定住促進住宅

調査の結果、需要と供給のバランスがほぼ取れている事が判明しました。

提案では、今後は老朽化した住宅の撤去や建て替えを総合計画に基づき進める

ことを必要としました。

この課題については「利用可能な空き家を探している」との問い合わせ、メディアでも取り上げられるなど全国的に関心が高まりその対応が急務となつていま

す。

○空き家、空き農地の調査

また他市町村を調査するとその多くが「空き家バンク」事業を展開し、ホームページなどで間取りや家賃、修繕の必要性といった情報を開示しています。中には修繕費を助成する例もあり定住促進施策として一般化しています。

そこで村でも同様に空き家バンクを設置するように

企画しましたが、他市町村とは違う魅力のある村独自のものになるよう検討を重ねました。

住民とのつながりが重要

定住まで至らず早期転出

を招く原因を検討した結果、移住者と村民との近所

付き合いが想定以上に敷居

が高くお互いにコミュニケーション不足に陥るためではないかと考えました。

そこで入居者がその周辺の村民の方と一緒に作業をしたり農業を体験するイベントや、近くの農地を空き家とともに貸出し村民が農作業の指導をするといった企画を提案しました。定住率の向上に有効なのは、このような村民と親交を深める機会を増やすことではないかと考えます。

なお本年度は地域おこし協力隊がこの事業を新しい施策として立ち上げるため研究を進めています。

○定住促進事業の研究

○実現に向けた独自テーマ

○「定住促進」

○の実現に必要な施策を見出すため、この課題を新しく

掲げました。

企画しましたが、他市町村とは違う魅力のある村独自のものになるよう検討を重ねました。

住民とのつながりが重要

定住まで至らず早期転出

を招く原因を検討した結果、移住者と村民との近所

付き合いが想定以上に敷居

が高くお互いにコミュニケーション不足に陥るためではないかと考えました。

そこで入居者がその周辺の村民の方と一緒に作業を

したり農業を体験するイベントや、近くの農地を空き家とともに貸出し村民が農

作業の指導をするといった企画を提案しました。定住

率の向上に有効なのは、このような村民と親交を深める

機会を増やすことではないかと考えます。

なお本年度は地域おこし

協力隊がこの事業を新しい

施策として立ち上げるため

研究を進めています。

○定住促進事業の研究

○実現に向けた独自テーマ

○「定住促進」

○の実現に必要な施策を見出すため、この課題を新しく

掲げました。

○「定住促進」

○の実現に必要な施策を見出すため、この課題を新しく

掲げました。

○「定住促進」

○の実現に必要な施策を見出すため、この課題を新しく

掲げました。

○「定住促進」

○の実現に必要な施策を見出すため、この課題を新しく

掲げました。



医療の充実を提案

○「住みやすい村を目指して

現在村に住む私たちが

「住みやすく本村に良い

村だ」と実感できれば、お

のずと定住促進につながる

のではと考えました。住民

がこれを実感でき他市町村

と比べても印象的な村を目

指して、次の四つの施策を

提案しました。

○可燃ゴミ袋の料金低額化

○医療の充実

○保育料の低額化

○公共交通機関の見直し

このうち十八歳までの医

療費無料化は本年度予算に

盛り込まれています。

またゴミ袋を含めた公共

料金、公共交通の在り方な

どは更に調査研究を進める

事業となりました。

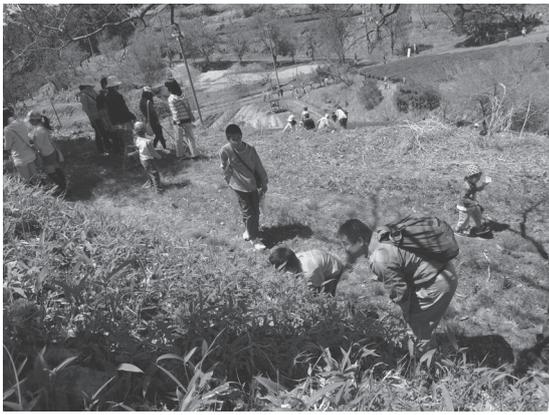
山から小学校が見えました

小学校・全校登山

四月二十七日、小学校恒例行事の全校登山が行なわれ、児童のほか保護者や一般の参加者合わせて約二百人が参加しました。

本年度挑戦したのは村と白川町、中津川市加子母にまたがる尾城山です。この山の標高は卒業までに登る六つのうち最も高い千百三十三メートルですが、登山道は整備されていて登りやすい山になっています。

まずは出発式の会場を目指して低・中・高学年ごとに異なるスタート地点から一キロ、四・二キロ



つちのこ搜索の様子

昇を歩きました。

式の後には縦割りの仲良しグループに分かれ頂上を目指して再出発です。三十分ほどでたどり着いた頂上では石碑の周りに名前を書いたケルン石を置いて、到着した証を残しました。

その後は昼食や休憩を挟みながら、ゴールの日向地区まで下山を始めます。このとき、道端に落ちているゴミを見付けた児童が自主的に拾い集めている様子が見られました。

到着式では六山制覇を称え、六年生と二人の保護者に校長先生からメダルが贈られました。

今年も盛況つちのこイベント

つちのこフェスタ2013

快晴に恵まれた五月三日、今年で二十五回目を迎えた恒例イベント「つちのこフェスタ」が中川原水辺公園で開催され、県内外から二千人と数多くの方が訪れました。

捕獲賞金が百二十四万円となった目玉イベントのつちのこ搜索ではおよそ五百名の方が参加、三チームに分かれて搜索会場のこもれびの里周辺へ向かいました。搜索会場では例年の木のつちのこプレートに加え、今年も捕獲賞金の

この日はどのグループでもリーダーの六年生が低学年を気遣ってグループに指示を出し、他の児童もそれに従って仲良く進む光景が見られました。

また小学校や栃山、大明神地区が見渡せた昼食地点で、PTAの皆さんが七×七メートルのブルーシートを木々の間に張りました。このシートは小学校から肉眼で見つけることができ、どこに登ったかを児童自身が確認できる目印となっています。

なお、来年は越原新巢山への挑戦となります。

一割・一万二千四百円がもらえる金のプレートが隠されました。残念ながらつちのこは発見されず、賞金は来年に持ち越されます。

そのほかステージではみつば保育園児や中学校吹奏楽部、檜茶太鼓などの出演、多くの参加者を集めた丸太切り大会やじゃんけん大会などで大きく盛り上がりしました。

また各種団体による出店やマスコカみ、クラフト体験などのコーナーもあり、会場は終始賑わいを見せていました。

明るく、見やすくなりました

テニスコート照明点灯式

先月号で紹介した総合運動場改修を祝い、四月八日にテニスコートの照明点灯式が行なわれ、ジュニアソフトテニスクラブ員と保護者、コーチなど関係者が参加しました。安江雅信教育長が「この機会に楽しく技術も成績も良くなつて円滑なクラブ活動が出来ることを期待します」とあいさつすると、クラブを代表して安江未織さん(中三・平)が「コートの照明を新しくしてもらいありがとうございます。練習を積み県大会出場を目指します」と話しました。

またクラブ員や保護者から「明るくて夜間練習が見やすくなりました」と喜び声が聞かれました。



点灯後の練習風景

今年度は交流重視で活動開始

ひよこくらぶ開級式

五月一日、村の子育て支援事業・ひよこくらぶの開級式がはなのき別館で行なわれました。参加者は保育園入園前の母子二十組で、親子で体操や手遊びを楽しんだり三つのグループ毎の交流で自己紹介を行なっていました。

ひよこクラブでは保護者が協力して年間の活動を計画し、それらを通じて子育てを学びます。今年度は母親同士が交流できるように各活動後の自由時間をより長く確保する方針です。

今年度のサークル長の樋口亜生さん（西洞）は「お母さん方が楽しんでながら子育てできる場を提供したい」と話されました。



グループでの交流



桜の根元に咲く水仙

昨年植栽の水仙が咲きました

しだれ桜と水仙の里づくり

鮎ヶ瀬会館付近の白川土手にはしだれ桜が立ち並び、毎年開花時期には春の風情を感じさせますが、今年はさらに黄水仙が加わってより一層の彩りが見られました。

この水仙は神土区と鮎ヶ瀬夢さくらの会が昨年十一月に行なった「日本で最も美しい村」連合加盟記念の協賛行事で、呼びかけに応じた村民とともに約八千球の球根を植栽したものです。

またこの植栽事業は二ヶ年での実施計画で、今年度はさらに一万二千球が植栽される予定です。

来年の春はさらに鮮やかな景色が期待されます。

森林・環境税活用で開設

森林にふれる遊歩道整備事業

村は今年三月に住民や来村者に身近に自然を感じてもらおうことを目的に、神土下親田・佐広地区の溪流沿いに遊歩道を開設しました。

この事業では県が昨年度から導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、事業費七十五万七千五百円で約七百八十メートルの散策道を整備しました。

今後この散策道は、村内の各種団体と協力して自然体験ツアーや自然教育などに活用していく予定です。

美しい自然を味わえる新たな観光資源で、村内外から多くの利用者が期待されます。



ルート脇に設置されたベンチ



トップページ

ウェブ上で村の魅力をもっとPR

観光協会ホームページ

東白川村観光協会の公式ホームページが今年三月に開設されました。

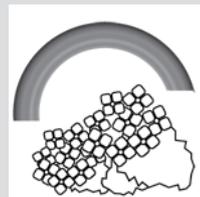
トップページでは村のイベントやお祭り、体験ツアーの最新情報が提供されます。

そのほか観光スポットや宿泊施設、特産品、「日本で最も美しい村」連合についても個別ページで紹介するなど、村の持つ様々な情報をお知らせしていきます。

既存の村・他団体ホームページとあわせて村をPRし、ウェブ上での集客効果を発揮することが期待されます。

<http://higashishirakawa.info/>

おしらせ



新議長・副議長が決定

四月二十六日の臨時議会で、新議長・副議長が誕生し、各委員長も交代となりました。体制を一新して村の活性化に尽力が期待されます。

議長・安倍徹 議員



副議長・服田順次 議員



すぐメール 配信情報を追加

今年度はこれまでの配信情報を見直し、当初の情報に加え以下の④・⑤を追加して配信中です。

災害発生時には必要な情報を素早く確実に皆さんへお届けできる手段となります。ぜひご登録ください。

※登録済みの方は必要に応じて配信情報の再設定を行なってください。利用者情報・配信情報の再設定ページは、随時配信しているメール末尾のURLから接続できます。

登録方法

- ① 次のアドレスにメールを送信してください。
t-higashishirakawa@sg-m.jp
 または右のQRコードを読み取り、表示されたページの「空メール送信」からメールを送信してください。
 ※メール本文は空白のみで可
- ② 折り返し「仮登録完了」のメールが届きますので、本文中のURLへ接続してください
- ③ 以降は画面の手順に従って操作を進めてください。なお配信カテゴリについては、任意選択となります。配信を希望する情報に を付けてください。
- ④ 最後にご自分のアドレスと配信情報が表示されます。誤りが無ければ、「入力内容を登録する」に進んでください。



情報の分類

配信情報

① 緊急災害情報	○ 災害時の避難・交通情報
② 防犯安全情報	○ 不審者情報 ○ クマ出没情報
③ 保育園・支援室情報	○ 警報時の休園・帰宅情報 ○ 帰宅訓練情報 ○ 職員室からのお知らせ
④ 生活関連情報 (新)	○ 道路通行規制情報 ○ 消費生活情報 ○ その他緊急のお知らせ
⑤ 診療所関連情報 (新)	○ 健康・福祉情報 (食中毒、熱中症など)

以上で登録は完了です

※パソコンでの受信を希望される方は、下記 URL のページから登録ください。

<https://service.sugumail.com/higashishirakawa/member/>

御寄付

ありがとうございます

【東白川村】

■ふるさと思いやり基金

金十万円：馬淵祐弘(栃山)

■医療・保健福祉部門指定

金八万円

：平松英之(名古屋)

金十万円：伊藤宏行(平)

写真集：小池捷一(西洞)

清拭布

：五十川恵子(久須見)

清拭布：松岡久子(栃山)

清拭布：わかば会(曲坂)

布大袋：匿名

洗剤八本：匿名

【社会福祉協議会】

金十万円：今井稔(下野)

金十万円：伊藤宏行(平)

金十万円：馬淵祐弘(栃山)

金六千六百円：匿名

清拭布：田口良子(平)

レジ袋、古切手、清拭布：

島倉淑子(下親田)

石けん：村雲昭二(加舎尾)

古切手：今井修子(大沢)

古切手：榎古田オート

古切手：匿名

※敬称略

東白川森林組合月末報告 第 665 回共販会 (4/23)	
ひのき	13cm 以下小丸太 平均単価 / 7,600 円
	14cm 以上 平均単価 / 17,600 円 高値 / 195,000 円
すぎ	平均単価 / 10,400 円 高値 / 55,000 円
赤まつ	平均単価 / 6,300 円 高値 / 21,500 円
総取扱量	801 m ³
総販売高	1,175 万 9 千円

その他詳細はこちらをご

<http://www.ipa.go.jp/security/event/hyogo/2013/>

○応募資格

全国の小学生、中学生、高校生、高専生

○募集期間

平成二十五年九月九日(月)まで ※当日必着

■ホームページ(↓)

表彰内容や応募方法、

その他詳細はこちらをご

○応募資格

全国の小学生、中学生、高校生、高専生

○募集期間

平成二十五年九月九日(月)まで ※当日必着

■ホームページ(↓)

表彰内容や応募方法、

その他詳細はこちらをご

○応募資格

全国の小学生、中学生、高校生、高専生

○募集期間

平成二十五年九月九日(月)まで ※当日必着

■ホームページ(↓)

表彰内容や応募方法、

その他詳細はこちらをご

「情報セキュリティ標語・ポスター・四コマ漫画コンクール」作品募集

○募集内容

「情報モラル／セキュリティ」の大切さを伝える標語、ポスター、四コマ漫画の三部門

○テーマ

①携帯電話(スマートフォンを含む) ②パスワード ③個人情報 ④ルール ⑤マナー ⑥パソコン ⑦ウイルス ⑧ネットトラブル ⑨チェーンメール ⑩著作権

覧下さい。

また過去の入賞作品も掲載されています。

■お問い合わせ

IPA 技術本部セキュリティセンター

Tel 03-5978-7508

岐阜県ファンクラブ 会員募集

岐阜県が好きなら、どなたでも入会できます。

○会員特典 (会費無料)

・県内百二十ヶ所(二十五

年三月現在)の「ほっと岐阜おもてなし施設」で会員限定優待サービスが受けられます

・年四回発行の会報誌で岐阜県の旬の話題や観光、イベント情報などを入手可能

■ホームページ(↓)

入会方法やその他詳細はこちらをご覧下さい。

■お問い合わせ先

岐阜県観光課(まちづくり支援・移住定住係)

Tel 058-272-8078

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/chiiki-shinko/gifu-funcub/>

返金制度を装った詐欺にご注意

最近、「振り込め詐欺救済法」に基づく被害者への返金制度を装った詐欺行為について、電話やチラシなどでの勧誘が多く報告されています。結果的に手数料などの名目で金銭を騙し取るうとする手口と思われま

す。

(※法に基づく返金制度は預金保険機構と金融機関が行なう「被害回復分配金の支払手続」のみ)

勧誘などがあつた場合は照会先または最寄の警察署にご相談下さい。

■照会先

・金融庁 金融サービス利用者相談室(ナビダイヤル)

Tel 0570-016811

・預金保険機構 財務部 振込詐欺被害回復業務課

Tel 03-3212-6076

ぎふ清流クールビズを実施中

県では、地球温暖化防止や夏季の電力不足に対する節電対策の一環として、今年度は五月一日から九月末

(予定)までクールビズを実施しています。

○服装

ノーネクタイ、上着非着用に加え、ポロシャツ、チノパン、スニーカーも可。

なおTシャツについては、FC岐阜など本県の推進する施策に関連するものに限り着用可。

■お問い合わせ

県・環境管理課
Tel 058-272-8230

近隣の休日診療情報

下呂市立休日診療所

■診療日時
毎週日曜日・祝日
午前9時～午後3時
■所在地
下呂市森 801-10
下呂市民会館1階
Tel 0576-24-1200
※原則として
内科・小児科の急病患者

6月

日	曜日	加茂医師会 午前9時～午後5時
2	日	かわべ眼科 (川辺町 / 53-4567)
9	日	木沢記念病院 (美濃加茂市 / 25-2181)
16	日	日江井外科 (美濃加茂市 / 25-2624)
23	日	太田メディカルクリニック (美濃加茂市 / 26-2220)
30	日	石原医院 (富加町 / 54-3121)

ナスの肉詰め揚げ



ナスを一手間かけて
丸ごといただきます

■材料（4人分）

- ・ナス：中四本
- ・鶏ミンチ：100g
- ・とうふ：四分の一丁
- ・タマネギ：二分の一個
- ・シヨウガ：一片
- ・卵：一個
- ・小麦粉：大さじ三
- ・しょうゆ：大さじ一
- ・塩コシヨウ：少々
- ・片栗粉：適宜
- ・揚げ油：適宜

【あん】

- ・水：100cc
- ・酢：30cc
- ・しょうゆ：大さじ一
- ・砂糖：大さじ二
- ・片栗粉：大さじ一
- ・ごま油：小さじ一

■作り方

- ①ナスはヘタを切り落として縦二つ割りにし、スプーンで中身を浅めにくりぬきボート型にする。
- ②くりぬいたナスの中身は刻んでおく。とうふはあらかじめ水気を切り、タマネギはみじん切り、シヨウガはすりおろしておく。
- ③②と鶏ミンチ、しょうゆ、塩・こしょうを入れ混ぜ合わせる。その後卵と小麦粉を入れ更に混ぜる。
- ④ナスの切り口に片栗粉を付け、混ぜ合わせた具を等分に載せ表面にも片栗粉をまぶし百五十度の油で三分くらい揚げる。
- ⑤次にあんを作る。鍋に水、酢、しょうゆ、砂糖を入れ火にかける。砂糖が溶けたら水溶き片栗粉をいれる。トロミがついたら火を止め、ごま油を混ぜて完成。
- ⑥④を三等分し、⑤のあんをかけ、出来上がり。

短歌



花畑の草取る指もにぶくなり

年を感じる今年の春は

早瀬久子

前山の日毎眺める林道も

木々の繁りて視野を阻めり

安江嘉子

園児等が無心にいちぢる土遊び

歩きを止めて我は領く

安江守平

野も山も黄砂で霞みしひと日過ぎ

洗濯物をパンパンはたく

安江一子

筆はさむ痺れた指に祈りつつ

色紙を書けば雨音しげく

安江とくよ

（平成二十四年発行 木の実会短編集【第五集から】）

人口の動き

世帯数	… 873世帯
人口	… 2,607人 (男1,250人 女1,357人)
転入	… 12人
転出	… 1人
出生	… 0人
死亡	… 2人
先月との比較	9人増
昨年との比較	65人減
4月末住民登録人口から	

お悔やみ申し上げます

安江博 六十二歳(栃山)
伊藤貴代子 九十二歳(平)

※敬称略



ひと 昨年引き続き

全校登山を取材させていたいただきました。

山頂からの素晴らしい眺めはもちろん、子どもたちが通学する小学校や、地域によつては住む家が見ることができるとこの登山は、とても良い体験になったのではないのでしょうか。

村は幼いころから自然に触れ合う機会に恵まれ、自然への思いやりが育つには最高の環境だと思えます。(H)